

2014年第2四半期決算説明会

株式会社ブリヂストン

2014年8月8日

目次

1	2014年第2四半期累計業績	P :
	2017十岁2017初来日未慎	1.0

2. 2014年通期業績見通し P.9





1. 2014年第2四半期累計業績

事業環境概要

◆ タイヤ需要

2014年第2四半期累計 新車用タイヤ需要

	乗用車用 ラジアル (対前年比)	トラック・バス用 ラジアル (対前年比)
日本	107%	111%
北米	105%	112%
欧州	102%	102%

◆ 為替

	2013年		2014年
	上期	上期	
USFル	96	100	102
ユ ーロ	126	134	140

2014年第2四半期累計 補修用タイヤ需要

	乗用車用 ラジアル (対前年比)	トラック・バス用 ラジアル (対前年比)
日本	106%	117%
北米	105%	110%
欧州	108%	110%

[※]需要数値は当社推定。

◆ 原材料

相場動向(平均価格)推移

	2013年		2014年
	上期 下期		上期
天然ゴム <tsr20>* (¢ /kg)</tsr20>	270	232	186
天然ゴム <rss#3>* (¢/kg)</rss#3>	303	255	219
原油 <wti> (\$/bbl)</wti>	94	101	101

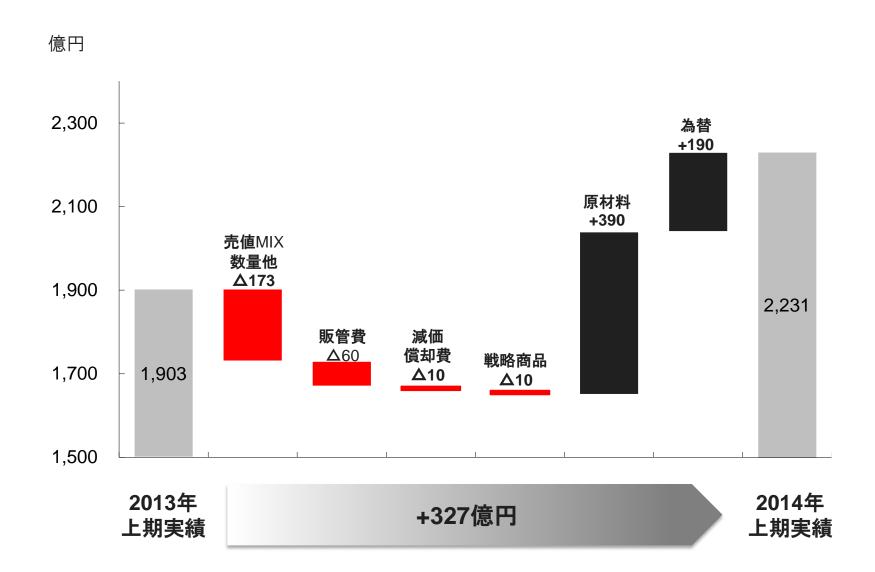
^{*}source: Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格参照



2014年第2四半期累計 連結業績概要

	USドル	96円	102円	+6円	100円
(単位:億	円) ユーロ	126円	140円	+14円	135円
		2013年	2014年		(参考 '14/2/18発表) 2014 年
		第2四半期 累計実績	第2四半期 累計実績	増減(%)	第2四半期 累計予想
	売上高	17,051	17,502	+3	17,900
	タイヤ部門	14,477	14,692	+1	15,200
	多角化部門	2,644	2,888	+9	2,800
	 営業利益	1,903	2,231	+17	2,100
		(利益率) 11.2%	(利益率) 12.7%	(利益率)+1.6%	(利益率) 11.7%
	タイヤ部門	1,732	2,020	+17	1,890
	多角化部門	171	210	+23	200
	経常利益	1,849	2,199	+19	2,010
	純利益	1,170	1,422	+22	1,270
	1件半たい配坐会	27⊞	40EE	.42⊞	40 🖽
	1株当たり配当金	27円	40円	+13円	40円

2014年第2四半期累計 営業利益増減要因(前年比)





2014年第2四半期累計 所在地別セグメント業績概要

(単位:億円)

	2013年 第2四半期 累計実績	2014年 第2四半期 累計実績	増減(%)	(参考 '14/2/18発表) 2014年 第2四半期 累計予想
日本	6,099	6,030	Δ1	6,000
米州	8,025	8,339	+4	8,600
欧州	2,009	2,228	+11	2,100
その他	4,265	4,085	Δ4	4,300
連結 売上高	17,051	17,502	+3	17,900
日本	1,084	935	Δ14	880
米州	782	839	+7	800
欧州	6	92	+	5
その他	371	335	Δ10	390
連結 営業利益	1,903	2,231	+17	2,100



貸借対照表ハイライト

	2014年	
	第2四半期末 実績	対前年末
総投下資本残高 (億円)	34,167	△1,602
(内) 流動資産(億円)	16,062	Δ1,110
固定資産(億円)	18,104	△491
純資産(億円)	19,151	+522
自己資本比率(%)	54.3	+3.8
有利子負債<ネット>(億円)	2,482	+85
	2014年	
	第2四半期累計 実績	対前年同期
設備投資 (億円)	1,203	+116
減価償却費 (億円)	886	+41





2. 2014年通期業績見通し

2014年通期 事業環境見通し

◆ タイヤ需要

2014年通期 新車用タイヤ需要見通し

	乗用車用 ラジアル (対前年比)	トラック・バス用 ラジアル (対前年比)
日本	96%	102%
北米	105%	109%
欧州	102%	98%
アジア(*) 計	112%	101%

◆ 為替

	2014 上期 下期 通期		
USFIL	102	100	101
그ㅡㅁ	140	135	138

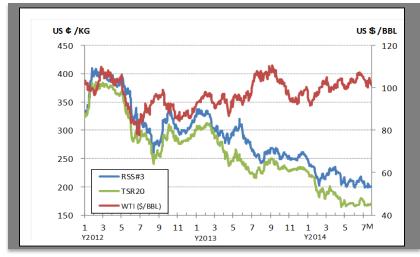
(参考) 2/18発表 '14年予想
100
135

2014年通期 補修用タイヤ需要見通し

	乗用車用 ラジアル (対前年比)	トラック・バス用 ラジアル (対前年比)
日本	99%	103%
北米	102%	107%
欧州	105%	104%
アジア(*) 計	116%	111%

^(*) タイ、インドネシア、インド、中国

◆ 原材料



*source: Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格参照

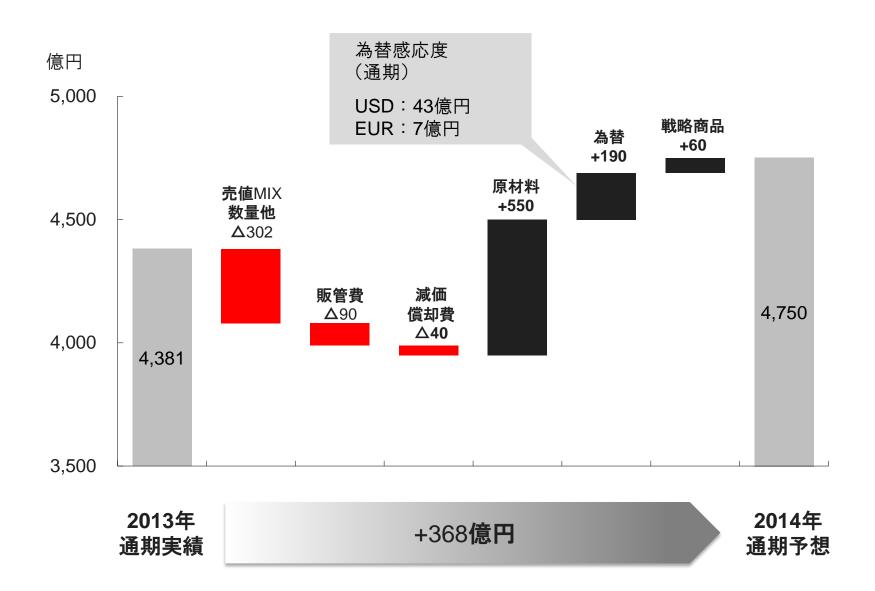


[※]需要数値は当社推定。

2014年通期 連結業績予想

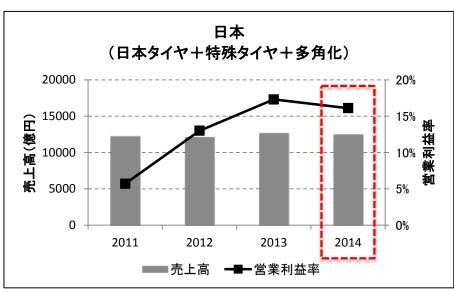
	USドル	98円	101円	+3円	100円
(単位:億	円) ユーロ	130円	138円	+8円	135円
		2013年	2014年		(参考 '14/2/18発表) 2014 年
		通期実績	通期予想	増減(%)	通期予想
	売上高	35,680	36,500	+2	38,000
	タイヤ部門	30,369	30,800	+1	32,500
	多角化部門	5,462	5,800	+6	5,700
	営業利益	4,381	4,750	+8	4,600
		(利益率) 12.3%	(利益率) 13.0%	(利益率)+0.7%	(利益率) 12.1%
	タイヤ部門	3,994	4,340	+9	4,190
	多角化部門	385	410	+6	400
	経常利益	4,347	4,540	+4	4,420
	純利益	2,020	2,930	+45	2,850
1	株当たり配当金	57円	80円	+23円	80円

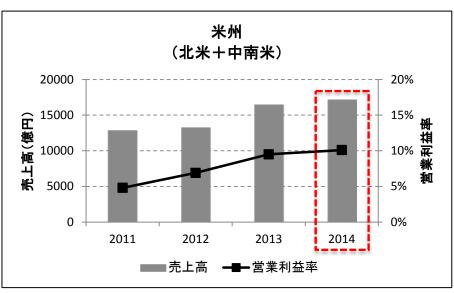
2014年通期 営業利益増減要因予想(前年比)





2014年通期 所在地別セグメント業績予想①





(単位:億円)

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
	2014年 通期予想	前年比 (%)	(: 2/18 '14年
売上高	12,500	△2	12,
営業利益	2,010	∆8	2,0

900 000

<2014年 補修用タイヤ販売本数 (前年比)>

乗用車用ラジアル	若干の増
トラック・バス用ラジアル	1割弱の増

(単位:億円)

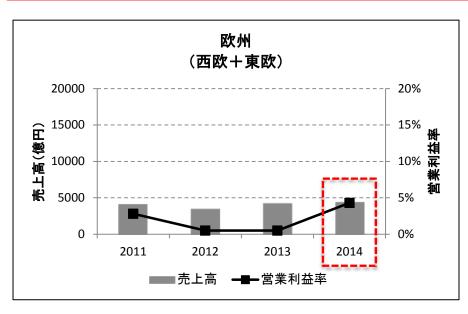
	2014年 通期予想	前年比 (%)
売上高	17,200	+4
営業利益	1,740	+11

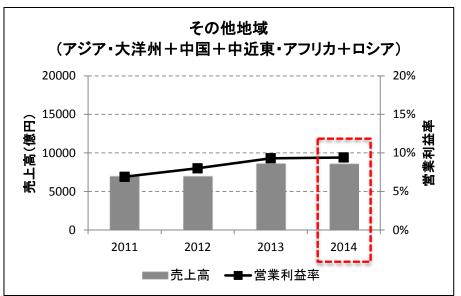
(参考) 2/18発表 '14年予想 17,900 1,670

<2014年 補修用タイヤ販売本数 (前年比)>

乗用車用ラジアル	1割弱の増
トラック・バス用ラジアル	1割弱の増

2014年通期 所在地別セグメント業績予想②





(単位:億円)

	2014年 通期予想	前年比 (%)	(参考) 2/18発表 '14年予想
売上高	4,400	+4	4,400
営業利益	190	+828	85

<2014年 補修用タイヤ販売本数 (前年比)>

乗用車用ラジアル	若干の増
トラック・バス用ラジアル	若干の増

(単位:億円)

	2014年 通期予想	前年比 (%)	
売上高	8,600	_	
営業利益	820	+2	

<2014年 補修用タイヤ販売本数 (前年比)>

アジア	乗用車用ラジアル	1割強の増
大洋州	トラック・バス用ラジアル	1割強の増
中国	乗用車用ラジアル	2割弱の増
	トラック・バス用ラジアル	1割弱の増

9,400

935

業績計画達成に向けて

当初計画からの事業環境の変化

・原材料価格 当初想定より価格上昇の遅れ

・タイヤ需要 / 日米欧: 当初見通しを上回る

(年間) 新興国: 当初見通しを下回る(一部国での成長鈍化、中南米政治的/社会的に不安定)

鉱山車両用ラジアルタイヤ: 当初見通しを下回るも、第2四半期から反転

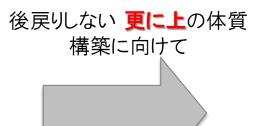
2014年計画(2/18発表)

売上高 : 38,000億円

営業利益 : 4,600億円

OP% : 12.1%

ROA : 6%更に上



2014年業績見通し

売上高 : 36,500億円

営業利益 : 4,750億円

OP% : 13.0%

ROA : 6%更に上

引き続き 最高益を見込む

- ・中長期的な体質改善を更に進める
- ・為替影響除いても増収増益確保

業績計画達成に向けた取組み

- -量と質の両面における競争優位性の確保
- 特殊タイヤ事業の持続的な成長性、収益性の確保
- 多角化事業の拡充
- ・基盤競争力の更なる向上
- ・グループ・グローバルリソースの最大活用



BRIDGESTONE

免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、 戦略目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。